

第3学年英語科学習指導案

指導者 山蔭 理恵

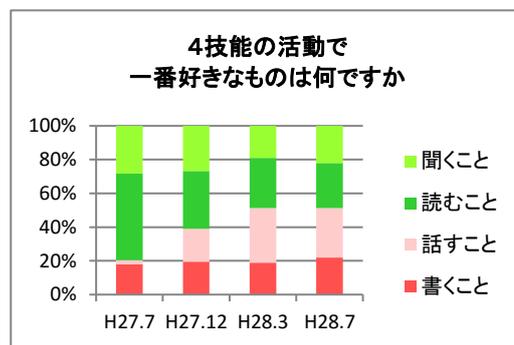
- 1 日時 平成28年11月16日(水) 第5校時
- 2 学級 一関市立大東中学校3年B組 男子11名 女子10名 21名 (3年B組教室)
- 3 単元名 PROGRAM7 What Is the Most Important Thing to You?
(開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

4 単元について

本単元は、世界の諸問題と、海外で活躍する日本人医師山本敏晴さんに焦点を当てた単元である。国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに適した題材といえる。そこで、単元のゴールの活動を「国際社会で活躍する日本人を紹介する」と設定した。教科書本文の内容を読み取るだけに留まらず、自分自身の考えを持たせ表現させることで、視野を広げ、国際協調の精神を養いたい。また、本単元で扱う言語材料は、主格の関係代名詞who, which, thatである。人物や事柄を詳しく説明するための高度で便利な言語材料であることから、単元のみならず繰り返し使用することで、定着を図りたい。

年間を通して、本文のリテリングやリライトを行うことで、「話すこと」「書くこと」の練習を繰り返している。単元の各授業がまとめの活動に集束するよう、リテリング、リライトングの中で自己表現作文や、新出の言語材料を用いた作文を取り入れられるよう指導していく。

昨年度10月の岩手県学力状況調査では、外国語表現(話す・書く)の観点の本校正答率は22.0%(県比-6.7)であったが、12月のCRT調査では55.8%(全国比+4.0)と回復傾向が見られる。また、7月に行った授業アンケートの「4技能の活動で一番好きなものは何ですか」という問いでは、外国語表現の項目を答える割合が51.0%(前年比+30.0)であった。昨年担当している学年であるが、英語で「話すことができる」「書くことができる」内容、表現が増えてきたことが、活動への自信、意欲にも繋がっていると思われる。生徒の英語使用量を増やし、英語で様々なことを臆さず発信できるような生徒の育成に努めたい。



5 単元の指導と評価の計画

(1) 単元の目標

- ①国際社会で活躍する日本人を英語で紹介することができる。【外国語表現の能力】
- ②相手が理解しやすくなるように表現したり、表現を直したりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ③主格の関係代名詞who, which, thatを含む文の構造を理解している。【言語や文化についての知識・理解】

(2) 単元のシラバス(別紙の通り)

6 本時について

(1) 本時のねらい

本時は、単元のまとめの活動に向け、「国際社会と日本人」というテーマについて、新出表現や既習表現を活用しながら、英語で話したり書いたりする練習を繰り返すことをねらいとしている。新出の言語材料を用いた文については、最初から正確さを求めるのではなく、「間違っても良いからまずは使ってみる」という意識づけのもと、繰り返し使用させる中で定着させていきたい。

(2) 授業づくりの視点

- ①「いわての授業づくり3つの視点」(授業改善の視点)から

【1 学習の見通し】

- ・「単元シート」を作成し、単元の最初の授業でゴールの活動までの流れを確認する。

- 【2 学習課題を解決するための学習活動】
 - ・活動を行う上で重要な点（到達目標やキーワード）は、全体で共通理解を図る。
 - ・個人で考える時間を保障した上で、ペアやグループ活動に臨む。
- 【3 学習の振り返り】
 - ・活動の到達目標を達成できたか、自己評価を行う。
 - ・学習課題に関わり、本時でできたこと/できなかったこと、次回頑張りたいことなどを文章で記述する。

②生徒指導の視点から

【1 学習サイクルづくり】

- ・授業と連動した家庭学習を出し、本時の授業→家庭学習→次時の授業のサイクルを構築する。
- ・言語材料の理解、練習（基礎）と実際に考えや気持ちを伝え合う活動（活用）を単元の中でバランス良く、繰り返し行う。
- ・教科書は3冊合本し、常に前学年の学習内容を振り返ることができるようにする。
- ・定期テスト後に「テスト分析ノート」を作成し、それまでの学習やテスト取組の振り返りを行う。

《英語科における家庭学習例》

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ・エイゴラボ（教科書準拠ワーク） | ・教科書等の音読 |
| ・Basic Dialog読み書き（基本の対話文） | ・英作文の下書き、清書 |
| ・マッピング、リテリング、リライト | など |

【2 ユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れた授業】

- ・活動の際、気をつけてほしい事柄については、黒板に紙板書を掲示し注意を促す。
- ・語句導入の際、語句を絵や写真とともに示し、理解を促す。（視覚補助）
- ・黒板、チョークの使い方、グループ活動については、英語科で統一する。

《黒板の使い方》



縦に2分割（白線で縦線を引く）

《チョークの使い方》

- 青：学習課題枠、「主語」波線
- 赤：まとめ枠、「動詞」二重線
- 黄：重要事項

※青、赤は線のみ。文字を書く際は使用しない。

《グループ活動》

- ・人数は3人または4人とする。
- ・グループ活動の際は、必ず机を合わせる。（ただし黒板に背を向けない。）
- ・活動後、その都度机を戻す。（個やペアの活動はそのまま行わない。）

【3 「授業の約束」の意識化】

- ・単元シートの自己評価項目を「授業の約束」と連動し、常に意識できるようにする。

《授業の約束》

- ①チャイム着席
- ②元気なあいさつ
- ③大きな声で返事、発言
- ④話は目と耳で聞く
- ⑤課題・用具は忘れない

《自己評価項目》

- | | |
|---------|--------|
| 1 準備・挨拶 | |
| 1 準備・挨拶 | |
| 2 発言・発表 | 3 相手意識 |
| 3 相手意識 | 4 支え合い |
| 1 準備・挨拶 | |

(3) 本時の目標

- ①相手が理解しやすくなるように表現したり、表現を直したりしようとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ②山本さんの取り組みについて、自分の言葉でより詳しく紹介することができる。
【外国語表現の能力】

(4) 本時の展開

段階	学習活動	指導の留意点	◆評価。【授業づくりの視点】															
導入 10分	1. 挨拶 2. 教科書の内容確認 3. 学習課題の共有	1. 英語学習の雰囲気をつくる。(英語の歌) 2. 本文の内容を大まかに復習する。	①【1 学習の見直し】															
Today's Goal 山本さんの取り組みについて、自分の言葉でより詳しく紹介しよう。																		
展開 32分	4. リテリング①	4. ペアでリテリングを行う。 ・ 評価の基準を与え、到達目標を意識する。 ・ リテリングは前時(7-1)の内容も含めて行う。 ・ ペアでアドバイス、評価を行う。	◆関・意・態 ①【2 学習活動】															
	5. リライティング	5. リテリングした内容を文字に書き起こす。 ・ リライティングは本時(7-2)の内容のみ行う。 ・ ペアでアドバイス、評価を行う。 【評価の基準(Summary参照)】 ①語数(A:50語, B:30語) ②文法 ③独自性	◆関・意・態 ◆外国語表現															
	6. リテリング②	6. ペアでリテリングを再度行う。 ・ 1回目のリテリングの評価と課題を生かす。 ・ ペアでアドバイス、評価を行う。	◆関・意・態															
終末 8分	7. モデルの共有	7. モデルとなる生徒の発表を全体で聞く。																
	Summary 右の基準表に則り、評価と振り返りを行う。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>語数</th> <th>英文が書かれていない</th> <th>目標語数Bを超えている</th> <th>目標語数Aを超えている</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文法</td> <td>英文が書かれていないかテーマから外れている</td> <td>文法上の誤りが多く理解できないところが多い</td> <td>文法上の誤りがあり理解できないところが部分的にある</td> <td>新出文法を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる</td> <td>様々な文を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる</td> </tr> <tr> <td>独自性</td> <td>自分の考えや気持ちについて書かれていない</td> <td>自分の考えや気持ちについて1文書いている</td> <td>自分の考えや気持ちについて2文書いている</td> <td>自分の考えや気持ちについて3文以上書いている</td> </tr> </tbody> </table>				語数	英文が書かれていない	目標語数Bを超えている	目標語数Aを超えている	文法	英文が書かれていないかテーマから外れている	文法上の誤りが多く理解できないところが多い	文法上の誤りがあり理解できないところが部分的にある	新出文法を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる	様々な文を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる	独自性	自分の考えや気持ちについて書かれていない	自分の考えや気持ちについて1文書いている	自分の考えや気持ちについて2文書いている
語数	英文が書かれていない	目標語数Bを超えている	目標語数Aを超えている															
文法	英文が書かれていないかテーマから外れている	文法上の誤りが多く理解できないところが多い	文法上の誤りがあり理解できないところが部分的にある	新出文法を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる	様々な文を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる													
独自性	自分の考えや気持ちについて書かれていない	自分の考えや気持ちについて1文書いている	自分の考えや気持ちについて2文書いている	自分の考えや気持ちについて3文以上書いている														
	8. 振り返り	8. 本時の学習活動を振り返る。 ・ 自己評価、文章記述による振り返りを行う。	①【3 振り返り】 ②【3 授業の約束】															
	9. 次時の確認	9. 次時の授業の連絡を行う。 ・ 課題の指示。 ・ 次時の学習課題の確認。	②【1 学習サイクル】															
	10. あいさつ																	

(5) 板書計画

Wednesday, November sixteenth sunny in fall

Today's Goal

山本さんの取り組みについて、自分の言葉でより詳しく紹介しよう。

Mr. Yamamoto

絵・キーワード

Point of View / Score	0	1	2	3	4
1 The Number of Words	英文が書かれていない	目標語数Bを超えている	目標語数Aを超えている	新出文法を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる	様々な文を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる
2 Grammar	英文が書かれていないかテーマから外れている	文法上の誤りが多く理解できないところが多い	文法上の誤りがあり理解できないところが部分的にある	新出文法を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる	様々な文を用いており使い方もほぼ正しく内容が十分伝わる
3 Originality	自分の考えや気持ちについて書かれていない	自分の考えや気持ちについて1文書いている	自分の考えや気持ちについて2文書いている	自分の考えや気持ちについて3文以上書いている	自分の考えや気持ちについて3文以上書いている

Summary

紹介する活動(リテリング・リライティング)について、基準表の3観点から自己評価・振り返りを行う。【HW】も自分に必要だと思うことを考えて書く。(単元シートに記入)

5 (2) 単元のシラバス (PROGRAM7)

単元 時数	単位時・学習範囲等	小単元 ページ	学習授業内容(学習課題)	評価・確認事項(まとめ)	授業の評価確認問題等 ◇言語材料 ◆活動評価基準
7①	What Is the Most Important Thing to You?	P66-71	国際社会で活躍する日本人について既習表現を使って表現しよう。	・グループ内で考えを交流, 共有しながら, 国際社会で活躍する日本人について表現しようとしている。(関心・意欲・態度)【観察】	
7②	What Is the Most Important Thing to You?	7-1 (P66)	人について詳しく説明する表現を使えるようになるう。	・関係代名詞whoを用いて人を詳しく説明することができる。(知・理)【後日テスト】	◇主格の関係代名詞who ・人(詳しく説明したい言葉=先行詞)+who+動詞～.
7③	What Is the Most Important Thing to You?	7-1 (P67)	山本敏晴さんの世界での活躍を, 自分の言葉で紹介しよう。	・相手が理解しやすいように表現したり, 表現を直したりしようとしている。(関・意・態)【観察】 ・山本敏晴さんの世界での活躍を, 自分の言葉で紹介することができる。(表現)【シートチェック】	◆リテリング・ライティングの評価基準 ①語数(目標A:50語, B:30語), ②文法(新出文法の使用と正確性), ③独自性(自分の考えや気持ちを加える)の3観点に気をつけ表現しているか
7④	What Is the Most Important Thing to You?	7-2 (P68)	ものについて詳しく説明する表現を使えるようになるう。	・関係代名詞whichを用いてものを詳しく説明することができる。(知・理)【後日テスト】	◇主格の関係代名詞which ・もの(詳しく説明したい言葉=先行詞)+which+動詞～.
7⑤ 本時	What Is the Most Important Thing to You?	7-2 (P69)	山本さんの取り組みについて, 自分の言葉でより詳しく紹介しよう。	・相手が理解しやすいように表現したり, 表現を直したりしようとしている。(関・意・態)【観察】 ・山本さんの取り組みについて, 自分の言葉で紹介することができる。(表現)【シートチェック】	◆リテリング・ライティングの評価基準 ①語数(目標A:50語, B:30語), ②文法(新出文法の使用と正確性), ③独自性(自分の考えや気持ちを加える)の3観点に気をつけ表現しているか
7⑥	What Is the Most Important Thing to You?	7-3 (P70)	人やものについて詳しく説明する別の表現を使えるようになるう。	・関係代名詞thatを用いて人やものを詳しく説明することができる。(知・理)【後日テスト】	◇主格の関係代名詞that ・人やもの(詳しく説明したい言葉=先行詞)+that+動詞～.
7⑦	What Is the Most Important Thing to You?	7-3 (P71)	「お絵かきイベント」について, 自分の言葉で紹介しよう。	・相手が理解しやすいように表現したり, 表現を直したりしようとしている。(関・意・態)【観察】 ・「お絵かきイベント」について, 自分の言葉で紹介することができる。(表現)【シートチェック】	◆リテリング・ライティングの評価基準 ①語数(目標A:50語, B:30語), ②文法(新出文法の使用と正確性), ③独自性(自分の考えや気持ちを加える)の3観点に気をつけ表現しているか
7⑧	What Is the Most Important Thing to You?	P66-71	国際社会で活躍する日本人を紹介しよう。	・国際社会で活躍する日本人について紹介することができる。(表現)【作文・発表チェック】 ・相手が理解しやすいように表現しようとしている。(関・意・態)【作文・発表チェック】	◆まとめの活動の評価基準 ①語数(目標A:50語, B:30語), ②文法(新出文法の使用と正確性), ③独自性(自分の考えや気持ちを加える)の3観点に気をつけ表現しているか
7⑨	What Is the Most Important Thing to You?	P66-71	単元の学習内容を振り返り, 現在の自分の到達度を知ろう。		